

意見書案第6号

コロナ禍における米価下落対策を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり東近江市議会会議規則第14条の規定により提出します。

令和3年9月24日

東近江市議会議長

市 木 徹 様

提出者

東近江市議会 産業建設常任委員会

委員長 和 田 喜 藏

## コロナ禍における米価下落対策を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大を背景に、国が緊急事態宣言を発令し、外出自粛要請や営業時間の短縮要請などが行われ、外食産業は大きな影響を受けた。このような中、国産米の需要は減少に歯止めがかからず、過大な在庫が生じており、令和3年度産米価格は全国的に大幅な下落となっており、生産農家は苦境に立たされている。

また、今年度においては、政府が進める減産以上に古米在庫が増加する見込みであり、長期間にわたって米価の下落が続けば、小規模農家だけでなく、大規模経営の生産農家も米づくりから撤退することにつながりかねない。

このため、コロナ禍において必要性が高まっている子ども食堂をはじめ、生活困窮者や学生などへの食糧支援の更なる強化など、従来の政策的枠組みにとらわれることなく、備蓄米を有効に活用すること等によって在庫を圧縮し、生産農家を支援することが緊急に求められている。

よって、本市議会は、コロナ禍の需要減少による「過剰在庫」分を国が政策的に対処するなど、米価下落に歯止めをかけ、需給環境を改善するために、あらゆる手段を講じるよう強く要望する。

以上のとおり、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月 日

東近江市議会議員 市 木 徹

(提出先)

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

農林水産大臣